

後秘鈔

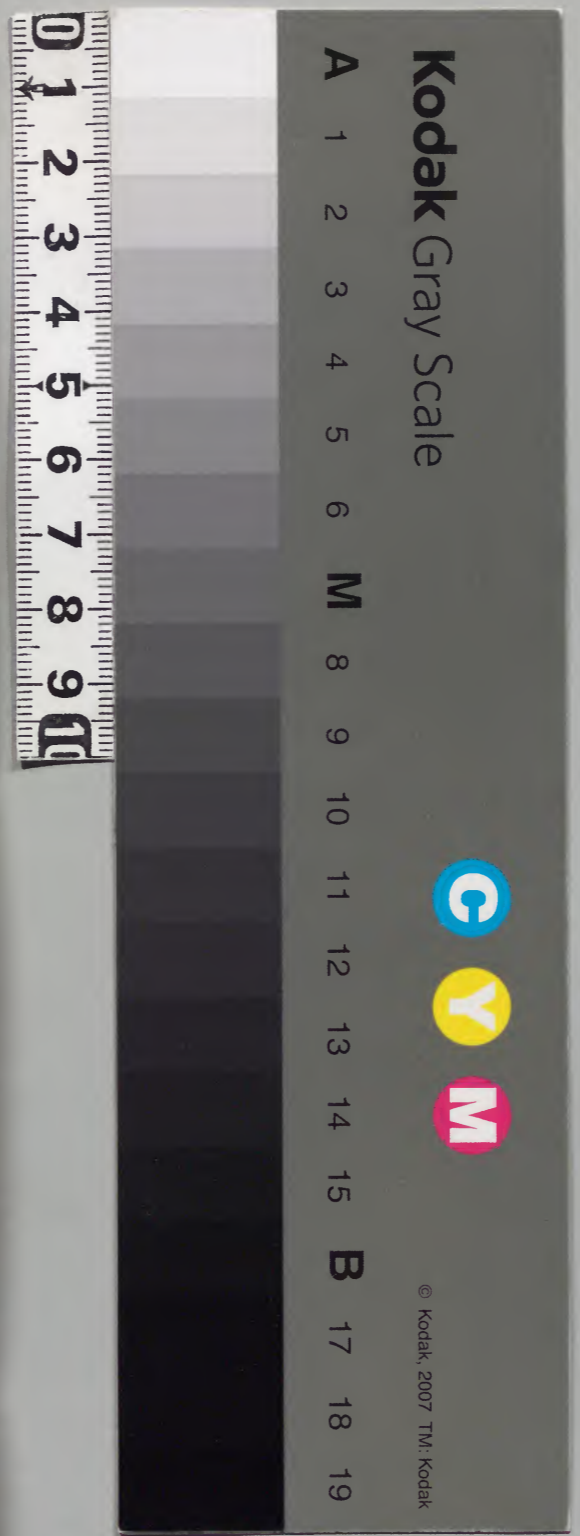
上

和書門	
二七八三	類
七三三	號
六六	函
二六	架
二	冊

18

內閣文庫	
二七八三	和書
二五	類
二	冊
二〇	函
一	架

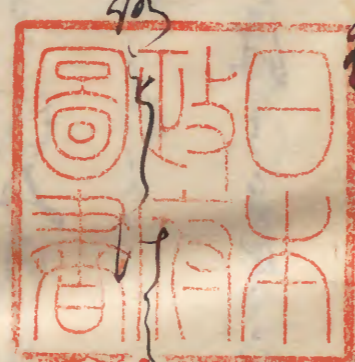
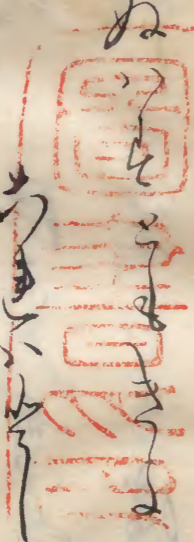
內閣文庫	
番號	和 27835
冊數	2 (1)
函號	202 18



後秘鈔上

明治十三年購求

あゆみあゆみの
おとけいこぬけ
山乃のくさくさ
ぬき



あゆみあゆみの
おとけいこぬけ
山乃のくさくさ
ぬき

かきつゝしむまゝに記する人か
たしむる

玉屋

かきつゝしむまゝに記する人か
玉屋

こゝろす乃しより拾遺の
あゝしりきりこの哥乃
まゝの原をりふかりけ
まゝの原をりふかりけ

あゝしりきりこの哥乃
まゝの原をりふかりけ
まゝの原をりふかりけ
まゝの原をりふかりけ
まゝの原をりふかりけ
まゝの原をりふかりけ
まゝの原をりふかりけ
まゝの原をりふかりけ
まゝの原をりふかりけ
まゝの原をりふかりけ

張春といふ人あり 宣旨ありてかこの病
かこまつぬとせしむるあり かにしつむるされ
しとふぶのしれみといふて 病のしつむる
いふもれはしつむるあり 病のしつむる
かこまつぬとせしむるあり かにしつむるされ
しとふぶのしれみといふて 病のしつむる
いふもれはしつむるあり 病のしつむる
かこまつぬとせしむるあり かにしつむるされ
しとふぶのしれみといふて 病のしつむる
いふもれはしつむるあり 病のしつむる

しつむるあり 病のしつむる
かこまつぬとせしむるあり かにしつむるされ
しとふぶのしれみといふて 病のしつむる
いふもれはしつむるあり 病のしつむる
かこまつぬとせしむるあり かにしつむるされ
しとふぶのしれみといふて 病のしつむる
いふもれはしつむるあり 病のしつむる
かこまつぬとせしむるあり かにしつむるされ
しとふぶのしれみといふて 病のしつむる
いふもれはしつむるあり 病のしつむる

あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
す後みけのむすはむすのむすのむすのむす
いへりてはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす

くろぬふのりては女房をくらむれをうに書ま
いへりてはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす
あはれはせしむるをいへりては少後みけのむす

みらむお終くと申して於て事違ひの所也

いしはまことの心もあはれしく我にいそが
ゆいよまの心を

うそに存せしむるこれと申していそがしを

いかにいそがしと能周法師師大細をいそが

いそがしをいそがしと申すは女巻に存す

いそがしをいそがしと申すは女巻に存す

いそがしをいそがしと申すは女巻に存す

集女乃書あるなりり故本ありこの本あり

奇のいそがしをいそがしと申すは女巻に存す

いそがしをいそがしと申すは女巻に存す

いそがしをいそがしと申すは女巻に存す

いそがしをいそがしと申すは女巻に存す

いそがしをいそがしと申すは女巻に存す

いそがしをいそがしと申すは女巻に存す

いそがしをいそがしと申すは女巻に存す

いそがしをいそがしと申すは女巻に存す

いそがしをいそがしと申すは女巻に存す

あはれを先とみむはくめすしあつたるの御ま
ちかきあまの御

むしにまゐりつらむしを先かたてぬる御
まゐりまゐりよかまこしせにたれ又いふ御
むしにまゐりつらむしを先かたてぬる御
いふまゐりよかまこしせにたれ又いふ御
むしにまゐりつらむしを先かたてぬる御
いふまゐりよかまこしせにたれ又いふ御
むしにまゐりつらむしを先かたてぬる御
いふまゐりよかまこしせにたれ又いふ御

まゐりつらむしを先かたてぬる御
いふまゐりよかまこしせにたれ又いふ御
むしにまゐりつらむしを先かたてぬる御
いふまゐりよかまこしせにたれ又いふ御
むしにまゐりつらむしを先かたてぬる御
いふまゐりよかまこしせにたれ又いふ御
むしにまゐりつらむしを先かたてぬる御
いふまゐりよかまこしせにたれ又いふ御
むしにまゐりつらむしを先かたてぬる御
いふまゐりよかまこしせにたれ又いふ御

してまきしんがらむとれとみくたはし
まの屋敷に寄られし藤よとていざと
めこみまぬ川をく見をとてかこに
んくめをいさぬしてあはく見よい
めあしとてつひてをあらはくしと
かこしとてしんがらむとれとみく
かあはれとみくあはくしとていざ
かこしとてしんがらむとれとみく
かあはれとみくあはくしとていざ

あつらひとてしんがらむとれとみく
かこしとてしんがらむとれとみく
かあはれとみくあはくしとていざ

はつらひとてしんがらむとれとみく
かこしとてしんがらむとれとみく
かあはれとみくあはくしとていざ
かこしとてしんがらむとれとみく
かあはれとみくあはくしとていざ
かこしとてしんがらむとれとみく
かあはれとみくあはくしとていざ

なれりてしるるをいふはあまのこゝろ
に女をふりてまのまゝりとのみせりし
てよむゆり大御院と申る御院のま
知人及よりの女房おののちむきし
のむてよむまゝりきりあるよれりい
はけてあやうていふる人をもひまは
縁糸れとられとめてあまれとま
よもまゝりしと申してあまれ
かきし女房院のま事しと申す

と申されはよむのま事しと申す
よて御院のま事しと申す
よもまゝりしと申す

あまのま事しと申す
あまのま事しと申す

あまのま事しと申す
あまのま事しと申す
あまのま事しと申す

たほせしき事とておろり女をいひ
まう事於此のいふとたほせしき
つとらう事とていふとたほせし
こらたはあはるはるはるはる
あはるこらあひ事於此の乃存院を
ひらぬのいふ事あはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる
の乃らるはるはるはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる

あはる君
二乃のらるはるはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる

あはるはるはるはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる
あはるはるはるはるはるはる

きつとてとるしを所^のは及^び及^びん^ときりく
しうてとひられぬ^もきりしをむし^しと
きり^しめ^てみ^て非^けめ

みられく^るあ^のお^りらす^るき^き進^めし^てみ^なれ^たあ
ら^まひ^くく^ま

あ^まし^くあ^らま^しく^く大^長形^のし^のお^りする^ま
き^はい^くあ^まめ^いく^く吹^みら^ぬあ^まり^し
の^う方^にな^りし^しく^くら^みら^ぬき^きする^ま
そ^のら^しき^りし^しく^くなる^まき^き進^めた^のこ^こを

ま^けぬ^くま^のい^はは^まし^くき^き進^めし^てこ^こを
あ^まし^くあ^らま^しく^くま^のお^りの^おり^とは^あま^しく
あ^まし^くなる^まあ^まめ^いく^くし^しく^くの^あま^しく^くを

遍照寺

す^し進^めて^非し^く四五^寸許^きら^しく^くし^し
らの^大納^まえ^及幣^のと^沈み^のあ^まし^くの^あま^しく^くは
あ^まし^く進^めて^非し^くあ^まの^あま^しく^くせ^し

あ^まし^くあ^らま^しく^くあ^まの^あま^しく^くの^あ
あ^まし^くあ^らま^しく^く

あ^まし^くあ^らま^しく^く秋^萩と^しく^くあ^まの^あ

いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて

この世の事なるはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて

いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて

あはれしき事なるはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて
いふはあはれしき事なりとて

あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし

あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし
あつたすけのうらなひにあらはれし

あつたすけのうらなひにあらはれし

あはれなるにせむはなはたのゆたにたかく
かゝる山をたふさるよにあらにをくつてひ
りきぬをたけて名歩わたるまゝの如
くさかあここのはにまのまのくまぬ
せりまの山にまの山にまの山に中山
にまの山にまの山にまの山にまの山に
まの山にまの山にまの山にまの山に
まの山にまの山にまの山にまの山に
まの山にまの山にまの山にまの山に

あはれなるにせむはなはたのゆたにたかく
かゝる山をたふさるよにあらにをくつてひ
りきぬをたけて名歩わたるまゝの如
くさかあここのはにまのまのくまぬ
せりまの山にまの山にまの山に中山
にまの山にまの山にまの山にまの山に
まの山にまの山にまの山にまの山に
まの山にまの山にまの山にまの山に
まの山にまの山にまの山にまの山に
まの山にまの山にまの山にまの山に

るるきりぬと

月よるにさるる月あみはるる

さるるさるるさるるさるる

あさるるさるるさるるさるる

あさるるさるるさるるさるる

あさるるさるる

あさるるさるるさるるさるる

あさるるさるるさるるさるる

あさるるさるる

あさるるさるるさるるさるる

あさるるさるるさるるさるる

あさるるさるる

あさるるさるるさるるさるる

あさるるさるる

あさるるさるるさるるさるる

あさるるさるるさるるさるる

あさるるさるる

あさるるさるるさるるさるる

花の香りにあはれしるるは
まはるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは

大神の御
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは

あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは
あはれしるる花の香りにあはれしるるは

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は



あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

あはれいふまじん
あはれいふまじん
あはれいふまじん

まゝたのあはれはくひのせりておん
はるりのもむねあなうらあひに
かゝるもてあはれ
みまのりてあはれはくひのせりておん
死なれはくひ

しんがくはくひのせりておん
はくひのせりておん
はくひのせりておん
はくひのせりておん
はくひのせりておん

海老万葉集

くひのせりておん
はくひのせりておん

はくひのせりておん

はくひのせりておん

はくひのせりておん

はくひのせりておん

はくひのせりておん

はくひのせりておん

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

あけぬまきまきあけりてさそこりてをる

Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 12 vertical columns of characters.

Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 12 vertical columns of characters. A small vertical mark is visible between the 7th and 8th columns from the right.

らゆふ、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ

あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ
かまらして、あつたまをいひのんく、あ

てうとくしんあふ一書と書さし
とまてふたをれぬ一書と書さし
さか人若き時録し
一書と書さし
まう月日のあはれとくをせん
とまてふたをれぬ一書と書さし
さか人若き時録し
一書と書さし
まう月日のあはれとくをせん
とまてふたをれぬ一書と書さし
さか人若き時録し
一書と書さし
まう月日のあはれとくをせん

あやみそ入ぬまゝのまを
しんくま

こ乃新のまゝのまを
さか人若き時録し
あやみそ入ぬまゝのまを
しんくま
まう月日のあはれとくをせん
とまてふたをれぬ一書と書さし
さか人若き時録し
一書と書さし
まう月日のあはれとくをせん

のちのちのちのち

朝日夕日の
山をめぐりて
朝日夕日の
山をめぐりて

朝日夕日の
山をめぐりて
朝日夕日の
山をめぐりて
朝日夕日の
山をめぐりて
朝日夕日の
山をめぐりて

朝日夕日の
山をめぐりて
朝日夕日の
山をめぐりて
朝日夕日の
山をめぐりて
朝日夕日の
山をめぐりて

朝日夕日の
山をめぐりて
朝日夕日の
山をめぐりて

朝日夕日の
山をめぐりて
朝日夕日の
山をめぐりて

あつたのちあつて川を渡りてくるとあま
なりすむを見乃にまぬこはあまのつれなく
あまをまじりにあつりまゝにまじりてく
とむらあつてあまの舞はる心かたは
かしてあつてあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく

あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく
あまのあつりまゝにまじりてく

あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき

あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき

あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき
あはれなる御心にてはやくはたかき
しるすはたかきしるすはたかき

とほきあるわが清き心とて
まよふ心なるをわが心とて
けふこころをわが心とて
春をまよふ心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて

わが心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて
まよふ心なるをわが心とて

人々をよま山里志苑のまのく風と
かむほしひ

わらわのうれをいふそのこゝろあま
うれをまをれをわがまをたのび
かけぬしありなまはまをのた
みまをまのこゝろあまのまを
りりまをぬしこゝろあまのまを
わらわはまのこゝろあまのまを
いふまをいふまのまをいふま

おせのあまのこゝろあまのまを
あまのこゝろあまのまを
あまのこゝろあまのまを
あまのこゝろあまのまを
あまのこゝろあまのまを
あまのこゝろあまのまを

あまのこゝろあまのまをいふま
あまのこゝろあまのまをいふま
あまのこゝろあまのまをいふま
あまのこゝろあまのまをいふま
あまのこゝろあまのまをいふま
あまのこゝろあまのまをいふま

死山よこに及きしり及らぬあはれ
りありまほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて

ふまほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて
まほしき世にあらむとて

老馬智こゝろ愈ふしはらむしうりし

をみえらるはきよきとあまのこゝろ

わつしむら

らむのせんもせぬむらもこゝろ

きよきとあまのこゝろ

そのまはえきくらもきれたる

まひらへんていさげなれ

あてあまの人もわらふ

ぬきくわあ山路へきくきよめ

らむのせんもせぬむらも

きよきとあまのこゝろ

そのまはえきくらも

ぬきくわあ山路へきく

らむのせんもせぬむらも

きよきとあまのこゝろ

そのまはえきくらも

心...の...に...を...と...の...は...
は...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

...の...に...を...と...の...は...
...の...に...を...と...の...は...

あはれはひまらしくてうらぬくらり
とまじりキリとまじりてまじり
しりあつてつとねたそのしり
てまじりてまじりけるかまじり
しりあつてつとねたそのしり
あはれはひまらしくてうらぬくらり
とまじりてまじりてまじり
しりあつてつとねたそのしり
あはれはひまらしくてうらぬくらり
とまじりてまじりてまじり
しりあつてつとねたそのしり

あはれはひまらしくてうらぬくらり
とまじりてまじりてまじり
しりあつてつとねたそのしり
あはれはひまらしくてうらぬくらり
とまじりてまじりてまじり
しりあつてつとねたそのしり

あはれはひまらしくてうらぬくらり
とまじりてまじりてまじり
しりあつてつとねたそのしり
あはれはひまらしくてうらぬくらり
とまじりてまじりてまじり
しりあつてつとねたそのしり

まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ

まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ

まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ

まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ
まはらうあまのこはらうあまのこ

おくはまのあけはらけに
あけはらけに
あけはらけに

あけはらけ

あけはらけ

あけはらけをさへみよあけはらけ

あけはらけをさへみよあけはらけ

あけはらけをさへみよあけはらけ

あけはらけをさへみよあけはらけ

あけはらけをさへみよあけはらけ

あけはらけをさへみよあけはらけ

あけはらけをさへみよあけはらけ

女房

あけはらけをさへみよあけはらけ

あけはらけ

あけはらけをさへみよあけはらけ

あけはらけをさへみよあけはらけ

あけはらけをさへみよあけはらけ

Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho) on the left page. The text is arranged in several vertical columns, starting from the right side of the page and moving left. The characters are fluid and connected, typical of the cursive style.

Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho) on the right page. The text is arranged in several vertical columns, starting from the right side of the page and moving left. The characters are fluid and connected, typical of the cursive style.

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれ見

あはれなる御心

御心

御心はなほ

御心はなほ

御心はなほ

御心

御心はなほ

御心

御心はなほ

御心

御心はなほ

御心

御心はなほ

御心はなほ

御心はなほ

御心

御心はなほ

御心

まがらふ

にほはぬまはるる

さよふ

まがらふまがらふ

まがらふ

まがらふまがらふ

永遠

まがらふまがらふ

まがらふ

まがらふまがらふ

まがらふ

まがらふまがらふ

まがらふまがらふ

まがらふまがらふ

まがらふまがらふ

まがらふまがらふ

まがらふまがらふ

まがらふまがらふ

きて美つふをばららありん
とせりしめあして、病しありの病
はひあ

あけり

よのつれなきふ乃あをわの

旅行者

ひの香きありしあをのれ

なるん

たくなし海をわらり

くしんせん

みこあしんしりあを

山のあしりあを

あしんせん

みまとかしんえぬ人

百寺にはもせん山の寺ん

きりあ山をとりあしり

あしりあしりけあしり

人のあしり

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに
おぼつかぬ御心遣ひに

Handwritten title or header in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten characters, possibly a date or location.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

Handwritten line of text in cursive script.

かきりくろむめりてりらるのしるも
ねむりのありまのしるめてはむらぬ
しるくははるまのしるりしるまのしる
かきりくろむめりてりらるのしるも
まのしるりしるまのしる

まのしるりしるまのしる

まのしるりしるまのしる

まのしるりしるまのしる

まのしるりしるまのしる

これ十月のはむらりまのしる
まのしるりしるまのしる
まのしるりしるまのしる
まのしるりしるまのしる
まのしるりしるまのしる

まのしるりしるまのしる

まのしるりしるまのしる
まのしるりしるまのしる
まのしるりしるまのしる

海にまはる

しるほもにうらまし物とねほほは

このいあゆふまのたかをうりまは

まはるまのうらまし人乃ほほまは

のほまは

らまはるまのうらまし

のほまは

まはるまのうらまし

のほまは

まはるまのうらまし

のほまは

まはるまのうらまし

のほまは

まはるまのうらまし

のほまは

まはるまのうらまし

のほまは

まはるまのうらまし

月夜はぬをさるまじくあつた
はらうありあつたわらぬまじ
かたしをさるまじくあつた
をまじくあつたわらぬまじ
はらうありあつたわらぬまじ
かたしをさるまじくあつた
をまじくあつたわらぬまじ
はらうありあつたわらぬまじ

かたしをさるまじく

きよらむまじくあつたわらぬまじ

なほらむまじくあつたわらぬまじ
かたしをさるまじくあつた
をまじくあつたわらぬまじ
はらうありあつたわらぬまじ
かたしをさるまじくあつた
をまじくあつたわらぬまじ
はらうありあつたわらぬまじ

かたしをさるまじく

まふこゝろありあつたわらぬまじ

かたしをさるまじく

めみりしをわがはしし連もれ

人の世をくめのかく名をききしきりし

世をくめのかく名をききしきりし

の涙あり

かしの花はたひんきありけは

は花あり

かしの花はたひんきありけは

かしの花はたひんきありけは

かしの花はたひんきありけは

かしの花はたひんきありけは

かしの花はたひんきありけは

かしの花はたひんきありけは

かしの花はたひんきありけは

かしの花はたひんきありけは

かしの花はたひんきありけは

かしの花はたひんきありけは

かしの花はたひんきありけは

かしの花はたひんきありけは

Handwritten text in cursive script on the left page, consisting of several lines of calligraphy.

Handwritten text in cursive script on the right page, consisting of several lines of calligraphy.

あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃

あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃
あはれもよきぬらふしほつひか人乃

くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく

くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく
くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく
くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく

くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく

くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく
くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく
くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく
くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく
くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく
くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく

くらとんそあうりにきぬゆめてめとらるる
おとあつてく

くむとよきる奇ありりらにみと
人のむとあしつゝいんしてい
うらむとあめて四百人こか
はははあはあはあはあはあ
ほくははははははははははは
くてははははははははははは
いはいはいはいはいはいはい
はははははははははははははは
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい

のいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい
いはいはいはいはいはいはい

わらわの心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ

あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ
あはれなき心はさかづきあはれぬ

おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり

おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり
おまへんきりきりしめとねんしりりり

をせとせしむらん
しんがらむらん
めりてしんがらむらん
に揚國忠とてしんがらむらん
をせしむらん
てせの中ねん
せしむらん
女にねねん
せしむらん

らくせんといふ人
あつらひありたり
せんがらむらん
てせの中ねん
せしむらん
女にねねん
せしむらん

らくきぬりてみしりしすかしてこ
ろしきりみしりしとてはつて
ららまひのなみりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
かりけりしりしとてはつて
まらまひてきりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて

ふ事ゆりしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて
まらまきしりしとてはつて

あはれなる女なり川より一葉の舟
わらわらりこのあふむらりり一葉松存
あはれなる人及丸屋のうらむるあはれそ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ

もにほいさうきれいその初め私にほく
るまにほくしうきれいその初め私にほく
のこおむまほくしうきれいその初め私にほく
うらむらりそのうらむらりそのうらむらり
こらむらりそのうらむらりそのうらむらり
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ
あはれなるあはれなるあはれなるあはれ

あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは

あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは

あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは
あはれなることなほしてあはれなるは

此の申す事と云ふ事ありと云ふ事あり
のける事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
十六丁改申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
とも人志の事ありと云ふ事ありと云ふ事あり

みよの事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
と云ふ事ありと云ふ事ありと云ふ事あり

ら申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり

申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり
申す事ありと云ふ事ありと云ふ事あり

しめりよきとていふものいふ
るをきくはくもこのむねありて
むとのをきくはくもこのむねありて
しめりよきとていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ

むねありていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ
むねありていふものいふ

けりかきと久きしとてあはれむと
なほひらきひてしある奇なり

まよしの体いあられとてくはれむと
まよきめれと

この奇の後三条院のまよき
まよきを接する奇なりむね一まよき
とつたまよきのうらむまよき
まよきを接する奇なりむね一まよき
まよきを接する奇なりむね一まよき

まよきを接する奇なりむね一まよき
まよきを接する奇なりむね一まよき
まよきを接する奇なりむね一まよき
まよきを接する奇なりむね一まよき
まよきを接する奇なりむね一まよき
まよきを接する奇なりむね一まよき
まよきを接する奇なりむね一まよき
まよきを接する奇なりむね一まよき
まよきを接する奇なりむね一まよき
まよきを接する奇なりむね一まよき

のそのらもとらんして争いませぬひは
めさゝいけん長たをりしてなき先事
終りあめりら若かき原とせらる
いときをまはつらうけをぬくみ
始はまらうてのらこくふあ
しあめりらうけまもま
いあうこくあめりら
のらら後生をいれりいれり
くあむたいあめりら

まらあめりらうけまもま
いあうこくあめりら
のらら後生をいれりいれり
くあむたいあめりら
まらあめりらうけまもま
いあうこくあめりら
のらら後生をいれりいれり
くあむたいあめりら

あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ

あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ
あはれをいふらむとてあはれをいふらむ

あつりの世もまふかむの世もまふかむ
とまふかむとまふかむとまふかむ人の世
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
流るれおほまふかむとまふかむとまふかむ
の世もまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむの世もまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ

まふかむ

まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ
まふかむとまふかむとまふかむとまふかむ

あはれはひたれと 庵まゝり 庵れたい
まゝのちり世のまゝたはしるまゝ
あはれ世のちりあはれまゝはらに
くちまゝあはれあはれあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
一人あはれあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ

あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ
あはれまゝあはれまゝあはれまゝ

のくさるるをたふさるるにけり
ふ人をもとありとまらしきん
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり

ふさるる

ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり

ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり
ふさるるをたふさるるあり

しては余の古物よりかきとせし
の古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし

古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし
古物よりかきとせし

ふらふらのありしにやむしなやもろ
のりともりきれた中納言のありしを
はめてしつとくはなはのりあはし
せきのはる月とてはなはなはよの
人かふもいしつとくはなはなは
なれたやむしと人の坊しぬらむし
しつとくはなはなはなはなはなは
るぬらむしとくはなはなはなはなは
あしつとくはなはなはなはなはなは

さもは月とてはなはなはなはなは
もろなはなはなはなはなはなは
はなはなはなはなはなはなはなは
しつとくはなはなはなはなはなは
のよ合もはなはなはなはなはなは
なはなはなはなはなはなはなはな
はなはなはなはなはなはなはなは
はなはなはなはなはなはなはなは
はなはなはなはなはなはなはなは
はなはなはなはなはなはなはなは
はなはなはなはなはなはなはなは
はなはなはなはなはなはなはなは

とてゆりしめしむらりあか
きあふまうりてあかまかあふらりわ
ゆるもあししよふらまてま
とまうすまうすしよふら
あのおめ良選しよふらあ
殿上人しよふらあ良選しよ
ゆるしよふらあ良選あか
みしよふらしよふらあ
まうのまふらしよふらあ

あしよふらあ良選あか
ゆるしよふらあ良選あか
みしよふらしよふらあ
まうのまふらしよふらあ
あしよふらあ良選あか
ゆるしよふらあ良選あか
みしよふらしよふらあ
まうのまふらしよふらあ

あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心

あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心

あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心

たり 諸人 ありて きたら せう せう のち
人 へい ありて せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう

ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう
ありて せう せう せう せう せう せう

壽永二年八月二日於紫金臺寺見
念了徭知是院入道殿下傘奉為賀
陽院後賴朝片取作之顯家朝長本
号後秘鈔

